



エコ・ファーストの約束

— 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み —

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

2024年 6月 18日

株式会社エフピコ
代表取締役会長 兼
エフピコグループ代表

佐藤 亨 氏

エフピコグループは、業界のリーディングカンパニーとして、エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」、「ボトルto透明容器」を柱にした事業活動により、循環型社会の実現による持続可能な社会の構築を目指し、以下の取り組みを強力に推進して参ります。

1. 2050年カーボンニュートラルに向け、事業活動全体でGHG排出量削減や気候変動対策を推進し、地球環境保全に取り組みます。

- ◆省エネ及び再生可能エネルギーの導入等、エネルギーミックスを推進することで、事業活動による自社からCO₂排出量 (Scope1,2) を2030年までに2019年度比 31%削減、2050年に実質ゼロを目指します。
- ・その達成に向けて『エフピコ中・長期環境計画 FPEA2.0』を策定し、「製造」「物流」「オフィス」「開発」「販売」「SCM」のプロジェクトチームによりグループ全体で削減を推進します。
- ・太陽光発電の自敷地内設置をはじめとして、再生可能エネルギーの導入を進めます。
- ◆環境配慮型製品を積極的に開発、拡販するとともに、地球環境保全に効果のあるインフラ構築を推進し、サプライチェーン全体でのGHG排出量削減施策に取り組みます。
- ・自社敷地内に設置した太陽光発電による再生可能エネルギーをリサイクル工場に導入することによりエコ製品のCO₂排出削減効果を高めます。
- ・ポリスチレンの完全循環を目指して各種リサイクル手法の研究を推進し、実装を進めます。
- ・TCFDに賛同しているとともに、エコマーク、エコリーフ、CO₂排出に係る第三者認証の取得やCDP等への回答を通じて気候変動への取り組みや情報を積極的に開示し、取り組みを強化します。
- ・事業活動に伴うCO₂排出を見える化し、サプライチェーン全体でのCO₂排出削減に努めます。

2. 容器包装のリデュース、リサイクルによる循環型社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進します。

エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」、「ボトルto透明容器」の拡大進化によるエコ製品の拡大及び、業界トップクラスの環境負荷の低い容器の研究開発によるCO₂の排出削減を強力に進めるとともに、廃棄物の発生抑制・再資源化に取り組みます。

- ◆リデュース
- ・非発泡から低発泡化容器への開発による60%プラ削減をはじめとした、成型技術や独自素材の開発により、販売する食品容器全体の平均重量を2030年度までに2020年度に対して5%の軽量化(資源の使用量削減)に取り組みます。
- ・食品容器業界における高い環境目標の設定及び、製品機能による食品ロス問題に対する解決をリードします。
- ◆リサイクル
- ・使用済容器回収量拡大：食品トレー・透明容器 13,500t/年 (2030年度目標)
：ペットボトル 80,000t/年 (2030年度目標)
- ・販売量拡大：エコ製品割合 60%以上 (2030年度目標)
APET、OPET製品のエコ製品比率100%の維持
- ◆事業活動に伴う廃棄物の発生抑制および再資源化：生産部門における産業廃棄物の最終処分率1%以内を維持します。

3. ステークホルダーに対する環境学習の提供等について積極的に役割を果たします。

全国に展開するリサイクル工場・選別センターを開放し、ユーザー、消費者、教育機関、地域住民など様々なステークホルダーに対し見学ツアーや学習機会を提供します。

さらに地球環境保全のために地域の活動団体へ支援を通じて、環境保全問題の啓発を進めます。

- ◆消費者団体の方々とリサイクル協力体制を強固にするために、工場見学者数及び教育機関への出前授業や各種講演会、展示会等での外部講演者数について、2030年度までに27,000人/年を達成します。
- ◆年2回実施しているグループ会社の全従業員を対象とした環境教育(環境研修会)を継続実施します。
- ◆2020年3月に設立したエフピコ環境基金により地球環境保全・環境教育等の活動を行う団体に助成するとともに、当該活動にグループ社員もボランティア活動に積極参加することを通じて、地域における環境保全活動を推進します。

エフピコグループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告ならびに当社HPやエフピコレポート等などで定期的な公表を行ってまいります。



ピコザウルス